

2013年2月16日

7mスローコンテストの実施要領

(財)日本ハンドボール協会競技運営部

延長戦を行い同点の場合は、7m スローコンテスト(以下、7mTC という。)により勝敗を決する。7mTC は下記の要領で実施する。

7m スローコンテストは5名制で行う。但し、登録していない選手、退場中の選手及び失格になった選手は出場できない。失格の選手は交代地域に入ることも許されない。

延長戦終了後、7mTC を行う選手の申告・登録を行う。登録は延長戦終了直後、審判員は両チームの代表者を記録席前に集め、両チーム代表者からスローをするメンバーを申告・登録させる。その申告・登録メンバーの記録は、「7mTC 登録・記録用紙」(以後 7mTC 記録用紙とする)に記録席員が記入する。申告はスローをする順番ではない。申告が終われば、記録席員は、チームA、チームBの責任者のサインを記入してもらう。

大会によっては3名で行っても良い。また、大会日程により大会日数に応じて3名方式、5名方式を混合して採用しても良い。

申告・登録が終わると審判員は、使用するゴールを決定し、先に投げるチームをコイントスにより決定する。

両チームの選手、チーム役員は、使用するゴールの反対側コートのセンターラインから4.5m に位置する交代地域ラインの仮想延長線上に並ぶ。

守備につかないGKは、交代地域の反対側の7mラインの延長上のサイドライン外側で待機する。GKはその試合の登録メンバーであれば交代して守ることができる。

スローする選手は申告・登録順番とは限らない。先に投げるチームの選手が7mラインに位置すれば、記録席員はその順番を7m記録用紙に記入する。(公式記録用紙記載は、別途指定通り行うこと。以後同様。)

第1投が終われば、記録席員はその結果を7mTC記録用紙に記入する。

以後、後に投げるチームの選手の順番と結果を7mTC記録用紙に記入する。

スローの結果が3対0、もしくは4対1などのように途中で勝敗が決まれば、その時点で7mTCは終了する。

5人制で実施する場合、状況によっては5人参加できない場合がある。その場合は、一人少なければ5回目のスローが失敗した記録とする。補充はできない。

最初の各5名による7mTCが同点の場合は、再度7mTCを行う。その際、改めて6人目から10人目までの選手の申告・登録を行う。記入の要領は前と同じである。

6人目として最初にスローするのは、1人目のチームと逆のチームから行う。

6人目からはサドンデス方式とする。

10人目が終わってさらに同点の場合は、3回目の7MTCを行う。記録席前で再コイントスをして先投・後投を決定する。以下、同様に繰り返す。同様に、サドンデスである。7mTC記録用紙は新規の用紙を使う。

15人目が終わってさらに同点の場合は、2・3回目と同様に申告・登録を行い、2回目と同様に逆のチームから行う。